2026年12月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年８月13日

上 場 会 社 名	ＧＭＯメディア株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6180	URL	https://www.gmo.media/
代　表　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	森　輝幸
問合せ先責任者	（役職名） 常務取締役	（氏名）	石橋　正剛　TEL　03-5456-2626
半期報告書提出予定日	2026年８月13日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有

決算説明会開催の有無　　：有　（アナリスト・機関投資家向け　　）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年１月１日～2026年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	3,376	△7.9	345	△38.4	349	△37.3	243	△43.0
2025年12月期中間期	3,667	9.6	561	33.4	558	32.8	428	41.8

(注）包括利益　2026年12月期中間期　244百万円（△42.8%）　2025年12月期中間期　426百万円（　40.8%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	135.14	133.52
2025年12月期中間期	239.01	235.05

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	5,815	2,906	49.5
2025年12月期	6,311	3,152	49.6

(参考）自己資本　2026年12月期中間期　2,883百万円　2025年12月期　3,132百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	0.00	0.00	0.00	241.00	241.00
2026年12月期	0.00	0.00			
2026年12月期(予想)			0.00	210.00	210.00

(注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	5.4	950	5.3	935	4.2	580	△10.3	320.93

(注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

新規　－社　（社名）　、除外　－社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期中間期	1,868,839株	2025年12月期	1,868,839株
②　期末自己株式数	2026年12月期中間期	77,332株	2025年12月期	61,632株
③　期中平均株式数（中間期）	2026年12月期中間期	1,804,591株	2025年12月期中間期	1,793,117株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、2026年8月13日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …………………………………………………………………………………2
（１）経営成績に関する説明 ……………………………………………………………………………………2
（２）財政状態に関する説明 ……………………………………………………………………………………4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ………………………………………………………4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …………………………………………………………………………………5
（１）中間連結貸借対照表 ………………………………………………………………………………………5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 ……………………………………………………7
中間連結損益計算書 ……………………………………………………………………………………………7
中間連結包括利益計算書 ………………………………………………………………………………………8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 ……………………………………………………………………9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 ……………………………………………………………………11
（継続企業の前提に関する注記） ………………………………………………………………………………11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ………………………………………………………11
（セグメント情報等） ……………………………………………………………………………………………11
（収益認識関係） …………………………………………………………………………………………………12

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、継続的な賃上げの進展により「所得と物価の好循環」への期待が高まっております。その一方で、長引く物価上昇と構造的な労働力不足が、企業にとって深刻な経営課題として顕在化しております。

こうした環境のもと、当社が注力する「学び・美容医療」市場は、個人消費の選択高度化、リスキリング需要の拡大、自由診療領域への関心の高まりを背景に、着実に成長を続けております。当社は、これらの成長領域における業界特化型メディアおよびストック型DXサービスの拡大を成長戦略の中心に据え、フロー型収益からストック型収益への構造転換を計画的に推進しております。

当中間連結会計期間においては、美容クリニック向けDXサービスをはじめとするストック型事業が堅調に拡大し、業界特化型事業の売上は前年同期比で着実に伸長いたしました。一方、美容医療領域において、前年度好調であった商材における一過性収益の剥落、および業界全体における検索エンジン経由の流入状況の変化やWeb広告単価の変動などを背景に、メディア事業の一部およびソリューション事業の一部でフロー型収益が前年同期を下回って推移いたしました。

これらの外部環境の変化に対しては、AIO（AI最適化）対策の強化、提携媒体ネットワークの拡大など、各事業で対策を順次実行しており、当連結会計年度の第３四半期以降の段階的な収益貢献を目指しております。

以上の結果、当中間連結会計期間における経営成績につきましては、売上高は3,376百万円（前年同期比7.9％減）、営業利益は345百万円（前年同期比38.4％減）、経常利益は349百万円（前年同期比37.3％減）、親会社株主に帰属する中間純利益は243百万円（前年同期比43.0％減）となりました。セグメント別の業績については、以下の通りになります。

①メディア事業

本セグメントは、当社の顧客基盤を背景に、ポイント・ゲーム関連メディアおよび業界特化型メディア（学び・美容医療）を運営しており、広告型のフロー収益と課金型のストック収益で構成されております。当中間連結会計期間においては、美容クリニック向け経営支援プラットフォーム「キレイパスコネクトbyGMO」等の業界特化型ストック事業が引き続き拡大基調を維持いたしました。また、2025年５月に承継した美容クリニック向け電子カルテ・予約システム「MEDIBASE byGMO」の寄与もあり、ストック収益は前年同期比で伸長しております。一方、前年度好調であった商材における一過性収益が剥落したため、フロー収益は前年同期を下回りました。

学び領域においては、検索エンジン経由の流入状況の変化に対応したAIO対策の強化と並行して、オンライン講座販売・会員管理システム「コエテコカレッジ byGMO」、塾・教室向け運営管理システム「コエテコマネージャーbyGMO」、生成AI活用作問・採点支援ツール「コエテコStudy byGMO」等のストック型サービスを多面展開しており、契約件数が継続して順調に増加しております。ポイント・ゲーム関連領域においては、広告業界全体の環境変化を背景に、広告事業のフロー型収益が前年同期を下回って推移しました。一方で、課金事業は堅調に推移しております。今後は、ゲームユーザーの課金機会を増やす事でストック化するための取り組みを進めるとともに、提携媒体ネットワークの拡大による収益寄与を見込んでおります。

以上の結果、メディア事業の売上高は3,123百万円（前年同期比4.5％減）、営業利益は348百万円（前年同期比26.5％減）となりました。

足元では、ストック収益である美容クリニック向けDXサービスが順調に契約数を積み上げており、学び領域でも複数のストックサービスを立ち上げ、契約件数が継続的に順調に増加しております。今後は、これらのストックサービスの成長をさらに加速させるとともに、外部環境に左右されない強固な収益基盤への転換を確実なものとしてまいります。

②ソリューション事業

本セグメントでは、メディア事業で培った集客およびリピーター創出のノウハウを外部展開し、提携パートナーのファン育成・リピート促進を支援するサービス、ならびに成果報酬型広告プラットフォームを提供しております。

当中間連結会計期間においては、ポイントCRMサービスの大口顧客について、前連結会計年度中に発生した契約条件の見直しの影響が継続したほか、成果報酬型広告プラットフォームにつきましては、市場の成熟化に伴い広告主の選択肢が増加し、広告代理業を介さない直接出稿が増加したことなどから、厳しい事業環境が継続しております。

その結果、ソリューション事業の売上高は252百万円（前年同期比35.8％減）、営業損失は3百万円（前年同期は営業利益86百万円）となりました。

ポイントCRMサービスにおいては、提携パートナー数の拡大と特定パートナーへの依存度の構造的な低減を図っております。また、ソリューション営業人材の獲得および育成を強化するとともに、そのリソースを成長分野である学び関連事業のクライアント開拓にも活用し、収益機会の最大化を図ってまいります。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は5,815百万円(前連結会計年度末比496百万円減)となりました。これは主に、現金及び預金が158百万円、関係会社預け金が250百万円、売掛金が64百万円減少したことによるものであります。

負債は2,908百万円(前連結会計年度末比251百万円減)となりました。これは主に、買掛金が68百万円、未払金が76百万円、未払法人税等が31百万円減少したことによるものであります。

純資産は2,906百万円(前連結会計年度末比245百万円減)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益243百万円を計上したものの、配当金435百万円により減少したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ408百万円減少し、2,973百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により得られた資金は、121百万円（前年同期は543百万円の収入）となりました。これは主に、未払金の減少80百万円、法人税等の支払額120百万円による減少の一方で、税金等調整前中間純利益349百万円による増加の結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動により支出した資金は、36百万円（前年同期は292百万円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得21百万円、投資有価証券の取得10百万円の支出の結果によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動により支出した資金は、493百万円（前年同期は341百万円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得58百万円、配当金433百万円の支出の結果によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年２月10日に公表しました業績予想を変更しておりません。業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに公表します。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,782,944	1,623,984
関係会社預け金	1,600,000	1,350,000
売掛金	1,228,378	1,164,147
商品	6,337	－
貯蔵品	95,398	55,526
その他	287,467	352,520
貸倒引当金	△2,874	△4,053
流動資産合計	4,997,651	4,542,125
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	18,139	20,370
有形固定資産合計	18,139	20,370
無形固定資産		
のれん	293,736	277,324
その他	390,702	370,469
無形固定資産合計	684,439	647,794
投資その他の資産		
その他	637,843	630,978
貸倒引当金	△26,192	△26,192
投資その他の資産合計	611,652	604,785
固定資産合計	1,314,231	1,272,949
資産合計	6,311,883	5,815,075
負債の部		
流動負債		
買掛金	890,053	821,296
未払金	1,013,499	936,814
１年内返済予定の長期借入金	3,900	3,900
未払法人税等	135,864	104,757
ポイント引当金	816,374	848,475
その他	269,113	164,488
流動負債合計	3,128,805	2,879,732
固定負債		
長期借入金	16,811	14,719
資産除去債務	14,177	14,177
固定負債合計	30,988	28,896
負債合計	3,159,794	2,908,629

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	761,977	761,977
資本剰余金	929,707	930,477
利益剰余金	1,511,623	1,319,972
自己株式	△71,869	△129,830
株主資本合計	3,131,439	2,882,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	770	1,044
その他の包括利益累計額合計	770	1,044
新株予約権	19,879	22,803
純資産合計	3,152,089	2,906,445
負債純資産合計	6,311,883	5,815,075

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年６月30日）
売上高	3,667,657	3,376,387
売上原価	1,894,556	1,859,759
売上総利益	1,773,100	1,516,627
販売費及び一般管理費	1,211,708	1,170,849
営業利益	561,392	345,778
営業外収益		
受取利息	4,432	8,918
受贈益	331	120
その他	2,807	1,034
営業外収益合計	7,570	10,073
営業外費用		
支払利息	338	187
投資事業組合運用損	6,775	3,713
暗号資産評価損	3,754	1,918
その他	0	586
営業外費用合計	10,869	6,405
経常利益	558,093	349,445
特別損失		
固定資産除却損	284	－
特別損失合計	284	－
税金等調整前中間純利益	557,808	349,445
法人税、住民税及び事業税	145,264	91,530
法人税等調整額	△16,035	14,029
法人税等合計	129,228	105,560
中間純利益	428,579	243,885
親会社株主に帰属する中間純利益	428,579	243,885

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 (自 2025年１月１日 至 2025年６月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年１月１日 至 2026年６月30日)
中間純利益	428,579	243,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,611	274
その他の包括利益合計	△1,611	274
中間包括利益	426,968	244,159
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	426,968	244,159

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	557,808	349,445
減価償却費	33,107	48,652
のれん償却額	17,229	16,411
貸倒引当金の増減額（△は減少）	242	1,178
ポイント引当金の増減額（△は減少）	11,004	32,101
株式報酬費用	3,330	3,330
受取利息及び受取配当金	△4,432	△8,918
暗号資産評価損益（△は益）	3,754	1,918
受贈益	△331	△120
助成金収入	△463	－
その他の営業外損益（△は益）	－	△17
支払利息	338	187
固定資産除却損	284	－
投資事業組合運用損益（△は益）	6,775	3,713
売上債権の増減額（△は増加）	2,427	64,231
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,351	6,337
貯蔵品の増減額（△は増加）	3,486	39,872
その他の資産の増減額（△は増加）	△39,387	△66,727
仕入債務の増減額（△は減少）	△33,901	△68,757
未払金の増減額（△は減少）	108,948	△80,869
その他の負債の増減額（△は減少）	△12,194	△108,051
その他	△24	－
小計	656,653	233,919
利息及び配当金の受取額	4,162	8,060
助成金の受取額	463	－
利息の支払額	△338	△187
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△117,471	△120,789
営業活動によるキャッシュ・フロー	543,469	121,003
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△272	△5,344
無形固定資産の取得による支出	△19,177	△21,273
投資有価証券の取得による支出	△10,000	△10,000
投資事業組合からの分配による収入	－	2
事業譲受による支出	△263,194	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△292,643	△36,614

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年６月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△3,544	△2,092
自己株式の取得による支出	－	△58,660
自己株式の処分による収入	10,360	1,063
配当金の支払額	△348,189	△433,659
財務活動によるキャッシュ・フロー	△341,373	△493,348
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△90,547	△408,959
現金及び現金同等物の期首残高	3,203,457	3,382,944
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,112,909	2,973,984

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自　2025年１月１日　至　2025年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		
	メディア事業	ソリューション事業	計
売上高			
広告取引関連収益	2,111,109	280,620	2,391,729
課金取引関連収益	1,064,714	20,414	1,085,128
その他収益	98,066	92,732	190,798
顧客との契約から生じる収益	3,273,889	393,767	3,667,657
外部顧客への売上高	3,273,889	393,767	3,667,657
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―
計	3,273,889	393,767	3,667,657
セグメント利益	474,657	86,734	561,392

（注）１．セグメント利益の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．セグメント利益には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

当中間連結会計期間(自　2026年１月１日　至　2026年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		
	メディア事業	ソリューション事業	計
売上高			
広告取引関連収益	1,852,988	159,898	2,012,887
課金取引関連収益	1,159,536	18,455	1,177,992
その他収益	111,179	74,328	185,508
顧客との契約から生じる収益	3,123,704	252,682	3,376,387
外部顧客への売上高	3,123,704	252,682	3,376,387
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―
計	3,123,704	252,682	3,376,387
セグメント利益又は損失（△）	348,858	△3,080	345,778

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。
　　　２．セグメント利益又は損失（△）には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。